

脱炭素社会の実現に向けて

2030年までの金ケ崎町 二酸化炭素（CO₂）排出削減目標

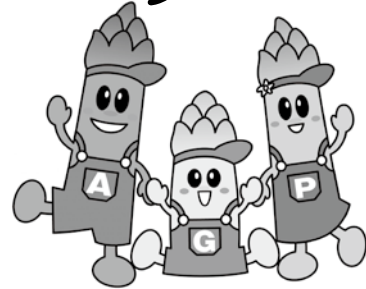
家庭部門年間目標

約 **912,000** Kg-CO₂

（2013年比 59%削減）

1世帯
当たり年間
約 **140**
Kg-CO₂

みんなで守ろう。
綺麗な地球！



私たちができること

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、令和6年12月に金ケ崎町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定したほか、令和7年2月には、『金ケ崎町2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明』（右図参照）を宣言し、町民・事業者・町がこれまで以上に連携・協働しなければなりません。

今回は、本計画内の町民一人ひとりができる取組みを紹介します。

☎ 生活環境課環境対策係（内線 2133）

金ケ崎町 2050 年二酸化炭素排出実質ゼロ表明

近年、温室効果ガスを要因とする地球温暖化の進行により、地球規模で平均気温が上昇し、異常気象による豪雨等の災害の発生が高まっているほか、熱中症リスクの増加、農作物や生態系への影響も著しくなっています。

また、国が2020年に「2050年カーボンニュートラル」という極めて重要な目標を宣言し、脱炭素化に向けた動きが加速しています。

町としても、脱炭素社会の実現に向けた行動指針となる「金ケ崎町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、5つの基本方針を柱とした総合的な施策を展開することで、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを、ここに宣言します。

- ・基本方針1「エネルギーの効率的な利用」
- ・基本方針2「再生可能エネルギーの適切な導入と利用」
- ・基本方針3「自然環境の保全や資源の循環利用」
- ・基本方針4「環境教育や普及啓発の促進」
- ・基本方針5「地域と協働する先進プロジェクトの促進」

令和7年2月20日

金ケ崎町長 高橋寛寿

マイバックの使用

やってみよう

レジ袋（年間300枚）をポリエチレン製のマイバック（3枚）に代替した場合

年間 CO₂ 削減量 1 kg



宅配を1回で受け取る

やってみよう

月6個程度の宅配便を全て1回で受け取った場合

年間 CO₂ 削減量 7 kg



エコカーに買い換え

検討しよう

ハイブリット車を使用した場合
（1万 km 走行する場合、ガソリン車との比較）

年間 約6万3,300円節約
CO₂ 削減量 610kg



（国の補助金）

窓の断熱改修

検討しよう

二重窓に取り替えた場合（1世帯当たり）

年間 約2万4,000円節約
CO₂ 削減量 47kg



（国の補助金）

地産地消

やってみよう

一部の野菜、果物を地産地消した場合
（1人当たり）

年間 CO₂ 削減量 8 kg



夏の冷房

やってみよう

外気温31℃の時、エアコン（2.2kW）の設定温度を27℃から28℃にした場合
（使用期間：112日間 1日の使用時間：9時間）

年間 約940円節約
CO₂ 削減量 14.8kg



ZEH（ゼッチ）の検討

検討しよう

戸建住宅をZEHにした場合（1戸当たり）
※ ZEH・・・高断熱・高気密・高効率設備と太陽光パネルなどでエネルギーをつくり、住まいのエネルギー収支がゼロになる家のこと

年間 約27万1,000円節約
CO₂ 削減量 3,543kg



（県の補助金）

太陽光パネルの設置

検討しよう

太陽光発電をした場合
（1人当たり）

年間 約5万5,800円節約
CO₂ 削減量 1,275kg



（県の補助金）

冬の暖房

やってみよう

外気温6℃の時、エアコン（2.2kW）の設定温度を21℃から20℃にした場合
（使用期間：169日間 1日の使用時間：9時間）

年間 約1,650円節約
CO₂ 削減量 25.9kg



ふんわりアクセル「eスタート」の実践

やってみよう

発進時、5秒間かけて20km/h程度に加速した場合

年間 約1万1,950円節約
CO₂ 削減量 194kg



省エネ家電に買い替え

検討しよう

冷蔵庫を10～14年程度前の製品から最新型に買い換えた場合（1世帯当たり）

年間 約1万350円節約
CO₂ 削減量 163kg



（町の補助金）

LED照明に交換

検討しよう

54Wの白熱電球から7.5Wの電球型LEDランプに交換（年間2,000時間使用）

年間 約2,883円節約
CO₂ 削減量 43.9kg

